

富士大学研究者情報

経済学部経済学科

教授

鈴木 康夫

すずき やすお

研究者基本情報

最終学歴	大阪府立大学大学院経済学研究科博士後期課程(経済学専攻)単位取得満期退学
取得学位	滋賀大学経済学修士、大阪府立大学・博士(経済学)
学位取得年月	1984年3月、2003年7月
出身地	宮城県
専門分野	ミクロ経済学・マクロ経済学・経済変動論・公共経済学・財政学・国際経済学・経済政策論・経済発展論
担当科目	(学部)ミクロ経済学(理論経済学Ⅰ)・マクロ経済学(理論経済学Ⅱ)・経済学概論・経済政策・財政学・財政政策・地方財政論・教養演習など、(大学院)ミクロ経済政策特論・マクロ経済政策特論
所属学会	日本経済学会、日本応用経済学会
長期研究テーマ	「ケインズ政策の基礎論的研究」「資本移動と国際マクロ経済政策」「インフレと景気循環」「財政金融政策と社会保障負担と経済成長」「再生天然資源と生態系の保全管理」「参入制限価格と効率的な市場」「独占的競争市場と実際の価格決定」「環境汚染ないし局所的变化と経済成長および持続可能性」
短期研究テーマ	「再生可能資源依存国の持続可能性と国際金融支援」「最適な天然資源管理の諸問題」「所得格差と最適な所得税率及び財政政策」「環境汚染を伴う経済成長の持続可能性」
1年以内に発表予定の研究業績	「再生可能資源依存の発展途上国の持続可能性と動学的経済政策及び最適な国際金融支援」(仮題)、「不完全な資本移動と金融政策のマクロ経済的効果」(仮題)、および、「環境の局所的变化と生物経済学的生態管理」または「琵琶湖の鮎資源量の調査研究エッセイ(数量分析編)」(仮題)、あるいは「ケインズの金融政策重視傾向の考察」

研究業績 (2026年3月末日現在)

【著書】

1	『不安定性原理とハロッド=ドーマー型経済変動成長理論』(単著)2001年3月、滋賀大学経済学部研究叢書第35号(滋賀大学経済学部)、115頁
2	『ケインズ革命とマクロ経済学』(単著)2003年3月、昭和堂、220頁 (出版後に博士号論文として提出)

【論文】

1	「ハロッド型成長モデルの安定性」(単著)1984年1月、滋賀大学大学院、修士論文
---	--

2	「擬似ハロッド模型」(単著)1984年10月、『白鷺論叢』第16号 pp.89-114 (大阪府立大学大学院経済学研究会)
3	「理論的存続条件の諸困難」単著 1985年10月 『白鷺論叢』第17号 pp.125-138 (大阪府立大学大学院経済学研究会)
4	「Game論的厚生経済学におけるCore-Walras等価命題と測度論的完全競争概念について」単著 1987年10月 『白鷺論叢』第19号 pp.1-19 (大阪府立大学大学院経済学研究会)
5	「賃金統制政策による最適成長」単著 1987年12月 『(大阪府立大学) 経済研究』第33巻第1号 pp.55-72 (大阪府立大学経済学会)
6	「効率賃金仮説と財政・金融政策の効果」単著 1988年10月 『白鷺論叢』第20号 pp.17-31 (大阪府立大学大学院経済学研究会)
7	「競争下のケインジアン厚生経済学と再分配課税及び至福の原理〔I〕」単著 1989年10月 『白鷺論叢』第21号 pp.1-25 (大阪府立大学大学院経済学研究会)
8	「ケインズ革命とその思想および目的」単著 1990年3月 『Justitia』(ユスティティア)創刊号 pp.275-287 (比較法制研究所/駿台法科専門学校) ミネルヴァ書房
9	「外国人労働者を伴うマクロ経済体系と経済政策」単著1990年3月 『労働問題研究』第30号 pp.13-22 (近畿大学労働問題研究所)
10	「公債蓄積と長期財政支出政策」単著 1990年3月 『(大阪府立大学) 経済研究』第35巻第3号 pp.113-127 (大阪府立大学経済学会)
11	「付加価値税と不完全競争下の市場均衡及び産業組織政策」単著1990年10月 『阪南論集(社会科学編)』第26巻第2号 pp.13-20 (阪南大学産業経済研究所)
12	「積極的財政政策と財政赤字の蓄積」単著 1991年3月 『阪南論集(社会科学編)』第26巻第4号 pp.41-46 (阪南大学産業経済研究所)
13	A Welfare-economic Characterization of Golden Rule with Heterogeneous Consumers” 単著1991年9月 『阪南論集(社会科学編)』第27巻第2号 pp.15-19 (阪南大学産業経済研究所)
14	「ハロッド的変動成長分析の一般化」単著1992年6月 『(神戸学院) 経済学論集』第24巻第1号 pp.55-83 (神戸学院大学経済学会)
15	「新古典派厚生経済学の短期的限界とケインジアン財政政策」単著1992年9月 『熊本法学』第73号 pp. 96-73 (熊本大学法学会)
16	「支配企業のLimit Pricing と社会厚生損失の比較動学」 単著1992年12月 『熊本法学』第74号 pp.114-101 (熊本大学法学会)
17	「資本蓄積と典型的なアーム・レースの動学的な不安定性」単著 1995年12月 『熊本法学』第85号 pp.120-100 (熊本大学法学会)
18	「コア極限理論へのラグランジュアン解析的接近法についての概説」単著1995年12月 『(神戸学院) 経済学論集』第27巻第3号 pp.75-91 (神戸学院大学経済学会)
19	「市場開放によるマクロ世界経済の最適成長」(査読付き論文) 単著1996年5月 『現代経済研究: 経済的厚生と公共政策の経済分析』第5号 pp.70-84 (西日本理論経済学会)

20	「短期的移民を伴う最適成長」単著1997年6月『熊本法学』第90号 pp.176-158 (熊本大学法学会)
21	「短期的分配フロンティアと社会厚生最大化」単著1997年9月『熊本法学』第91号 pp.114-101 (熊本大学法学会)
22	「ケインジアン革命と、標準的なワルラシアン・マクロ経済体系」単著1998年2月『彦根論叢』第311号 pp.35-54 (滋賀大学経済学会)
23	「短期の動学的財政政策と連続的調整速度」単著 2001年6月『彦根論叢』第331号 pp.147-163 (滋賀大学経済学会)
24	「ハロッド=ドーマー型モデルと現代経済成長理論」単著2001年10月『彦根論叢』第332号 pp.197-214 (滋賀大学経済学会)
25	「IS・LM体系の動学分析とケインジアンマクロ経済政策」単著 2001年12月『滋賀大学経済学部研究年報』vol.8 pp.95-112 (滋賀大学経済学会)
26	「インフレと景気循環のケインジアン動学とマクロ経済政策」単著2002年12月『滋賀大学経済学部研究年報』vol.9 pp.245-265 (滋賀大学経済学会)
27	「基本的な最適成長理論と完全雇用」単著 2003年7月『彦根論叢』第343号pp.51-64 (滋賀大学経済学会)
28	「基本的な最適成長モデルと完全雇用」単著 2003年11月『彦根論叢』第344・345号 pp.145-164 (滋賀大学経済学会)
29	「ラムゼイの功利主義的至福と最適消費・資本蓄積理論」単著 2003年12月『滋賀大学経済学部研究年報』vol.10 pp.79-93 (滋賀大学経済学会)
30	「2階級経済モデルの新古典派的成長と古典的資本蓄積」単著 2004年12月『(大阪府立大学) 経済研究』第50巻第1号 pp.143-159 (大阪府立大学経済学会)
31	「新古典派最適成長と社会保障給付の基本的な分析」単著2006年12月『彦根論叢』第356号 pp.181-193 (滋賀大学経済学会)
32	「不安定性原理とハロッド変動成長理論における自律振動の可能性」単著2006年1月『彦根論叢』第357号 pp.143-163 (滋賀大学経済学会)
33	「最適地域経済成長と資本蓄積の対地震防災」単著2006年7月『彦根論叢』第361号pp.99-118 (滋賀大学経済学会)
34	「短期的環境マクロ経済体系の動学的安定性」単著2007年3月『東北学院大学経済学論集』第164号 pp.37-57 (東北学院大学学術研究会)
35	「ハロッド変動成長理論の不安定性と、企業行動の期待および不確定性」単著 2008年1月『彦根論叢』第370号 pp.87-102 (滋賀大学経済学会)
36	「公債蓄積新古典派的成長、財政支出による安定化制御」単著 2010年2月『彦根論叢』第386号, pp.148-161, (滋賀大学経済学会)
37	「対外債務と再生産可能資源輸出の動学的安定性」単著 2011年3月『彦根論叢』第387号, pp.166-175, (滋賀大学経済学会)
38	「閉鎖性水域における地域個体群の生態的環境と競争的漁業」単著2011年9月『滋賀大学環境総合研究センター研究年報』Vol.9, No.1, pp.45-55.

39	「閉鎖性水域での競争的漁業と生態的環境及び地域（局所）的TAC」単著2012年9月 『滋賀大学環境総合研究センター研究年報』 Vol.9, No.1, pp.45-55.
40	「経済理論とマクロ経済学の基礎を学ぶ」単著 2014年6月『彦根論叢』第400号, pp. 8-21, (滋賀大学経済学会)
41	「移民労働力と経済成長の安定性」単著2015年10月『熊本学園大学経済論集』第22巻第1-2合併号、熊本学園大学経済学会
42	「MSY政策の再生可能資源輸出及び、対外債務と消費の動学的最適化」単著2025年10月『彦根論叢』第445号、pp.50-61 (滋賀大学経済学会)
43	「対外債務を伴う再生可能資源輸出依存国の持続可能性と国際金融機関貸出しの役割」単著、2026年3月『彦根論叢』第447号、pp.82-95 (滋賀大学経済学会)

【その他の執筆】

1	(研究ノート) 「不安定性原理の形式的な表現についてのノート」単著 1986年12月『白鷺論叢』第18号 pp.129-141 (大阪府立大学大学院経済学研究会)
2	「対外債務と再生可能資源の零細的輸出についてのノート」単著1993年6月『熊本法学』第76号 pp.120-100 (熊本大学法学会)
3	「農業的な再生可能資源モデルと最適管理政策の例」単著1996年3月『熊本大学共同研究報告書：国際統合の進展のなかの「地域」に関する学際的研究』pp.367-373 (熊本大学人文社会科学系大学院博士課程設置委員会／プロジェクト研究部会) 熊本大学文学部・法学部
4	「Baldwin の貿易自由化モデルに関するノート」単著 1997年3月『熊本法学』第89号 pp. 270-256 (熊本大学法学会)
5	「生物的再生可能資源の動学モデルとその最適開発、生態系保全管理に関するノート」単著2025年3月 Working Paper Series No.314、pp.1-10 (滋賀大学経済学部)
6	(翻訳) 『経済学の歴史 1630-1980 人物・理論・時代背景』ハンス・ブレムス著／駄田井 正・他訳 (共訳) (担当各章は単著) 1996年5月 (第6, 7, 8, 14, 15, 16, 17章(終章)の7つの章の英文翻訳を担当) 多賀出版
7	(書評) 書評『経済学の巨人危機と闘う一達人が読み解く先人の知恵』単著、2013年12月『彦根論叢』第398号, pp.174-185, (滋賀大学経済学会)
8	(研究ノート) 「生物的再生可能資源の動学モデルとその最適開発、生態系保全管理に関するノート」単著、2025年3月、Working Paper No.314、WORKING PAPER SERIES、pp.1-10 (滋賀大学経済学部)
9	(私の研究教育実践エッセイ) 「琵琶湖の鮎資源量の調査研究エッセイ (野外実地調査編)」単著、2026年1月、『彦根論叢』第446号、pp.60-64 (滋賀大学経済学会)

【学会発表】

1	(学会発表) 「効率賃金仮説とマクロ経済政策」単著 1990年6月 理論・計量経済学会西部部会 帝塚山大学
2	「短期における動学的積極財政政策の連続的速度調整について」単著 1991年6月 理論・計量経済学会西部部会 甲南大学

3	「世界経済の最適成長について」単著 1995年7月 西日本理論経済学会 第100回大会 九州産業大学
---	--

【教職歴】

1	阪南大学経済学部非常勤講師（産業連関論）（1990年4月～1992年3月）
2	奈良県立医科大学医学部非常勤講師（経済学）（1991年4月～1992年3月）
3	近畿大学通信教育学部非常勤講師（経済原論）（夏前のスクーリング集中講義）（1991年4月～1991年5月）
4	熊本大学法学部助教授（経済原論担当）（1992年4月～1998年3月）
5	熊本商科大学（後の「熊本学園大学」）経済学部非常勤講師（ミクロ経済学・（内数年だけ）経済数学）（1993年4月～1998年3月）
6	滋賀大学経済学部助教授（(学部)マクロ経済学・経済変動論等、(大学院)経済分析（マクロ）・理論経済学第一特講Ⅰ・Ⅱ等担当）（1998年4月～2005年2月）
7	聖泉短期大学非常勤講師（経済学A・経済学B）（1999年4月～2004年3月）
8	滋賀大学経済学部（教授）（(学部)マクロ経済学A・B、コアセッションマクロ経済学A・B、経済変動論、産業連関論等、(大学院)マクロ経済学特講Ⅰ・Ⅱ、(院)産業連関論特講等担当）（2005年3月～2025年3月）
9	滋賀大学大学院博士後期課程担当（教授）（リスクの経済学特殊講義(後にマクロ経済学特殊講義に移る)）（2006年4月～2025年3月）
10	滋賀県立大学非常勤講師（現代経済論(工学部の要請で数年間だけJABEE教育に対応、後に「経済学」に改名)）（2007年4月～2025年3月）
11	甲南大学経営学部（EBA総合コース）非常勤講師（マクロ経済学）（2009年4月～2009年9月）
12	滋賀大学経済学部副学部長（：学務委員長）（2012年4月～2013年3月）
13	滋賀大学附属図書館副館長（2023年4月～2025年3月）
14	富士大学経済学部教授（2025年4月～現在に至る）

【内外における公開講座等の講師】

1	滋賀大学経済学部公開講座「経済危機とケインズ経済学の復権」を講演（2010年10月） 第1回：世界恐慌とケインズ経済学の登場、第2回：大戦後のグローバルな市場経済と古典的な経済思想、第3回：経済危機とケインジアンのマクロ経済政策
---	---

【社会的活動】

1	湖北広域行政事務センター廃棄物減量等推進審議会委員（2013年4月～2025年3月）
2	湖北広域行政事務センター（新）斎場整備基本計画策定委員会委員（2015年4月～2016年3月）・他
3	湖北広域行政事務センター(新)施設整備事業者選定委員会委員（2021年4月～2023年3月）
4	花巻市地域公共交通会議（第6号）委員（令和7年6月～令和8年11月30日）

【受賞歴】

1	<p>(科研費研究報告) 「短期的移民を伴う経済成長政策と国際的安定性」(共著：分担率98%) 2003年6月 課題番号13630050：平成13年度～平成14年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(2)) 研究成果報告書 全31頁：研究代表者として作成、代表者の分担率98%) 研究分担者：小倉明浩(滋賀大学経済学部) 分担率2%</p>
---	---